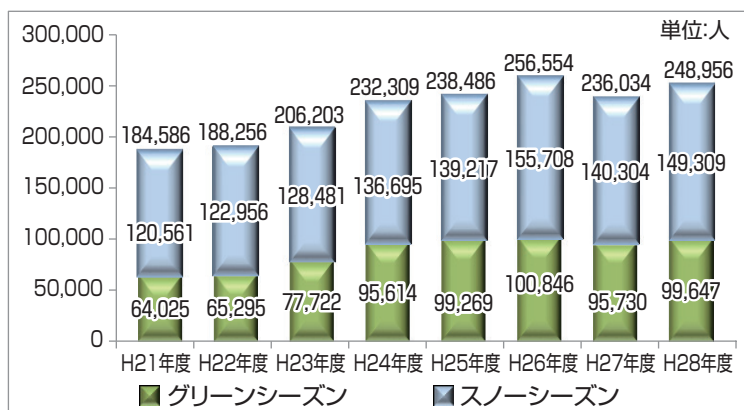


富士見パノラマリゾートの経営状況をお知らせします

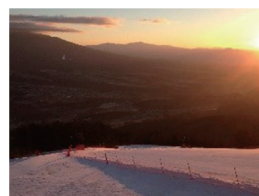
問 産業課 商工観光係 ☎62-9228

(1) 来場者の状況 ～グリーン・スノーシーズンとも近年中2番目の実績 前年比105%～



スノーシーズン

前年比 106%
スキー・スノーボードだけでなく、キッズパークも人気。また、入笠山は、スノーシュー体験の人気も高まっている。



グリーンシーズン

前年比 104%
山野草公園では、春から夏、様々な山野草の移り咲きを楽しみ、秋はゴンドラを利用した早朝の雲海や星空観察が楽しめる。

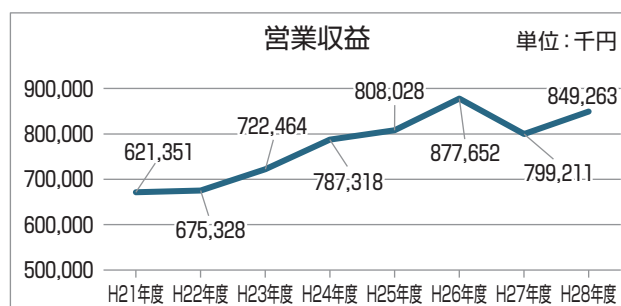
グリーンシーズンは、全般に山野草の開花状況も良く宣伝効果が発揮でき、入笠山の特徴周知に貢献することができました。来場者数は春先から順調に推移していましたが、台風の襲来、9月の長雨により客足が鈍り、僅かに10万人を下回ったものの、MTB、ハイカー、団体とも全般にわたり集客ができ、売り上げについても増収を果たし、グリーンシーズンの黒字化も定着しました。

スキーシーズンは、前年に続き暖冬傾向のスタートとなりましたが、1月、2月は天候に恵まれゲレンデコンディションも良く連日賑わい、多くの来場者に好評を博すことができました。特に2月11日は5千人を超える来場があり、駐車場やレンタルショップなどで混雑する場面が見受けられました。開業30周年事業としてレンタルショップを全面リニューアルしブランド品を取り揃えたことで、スキー、スノーボードの評判が良くお客様の満足度向上に繋がりました。また、スノーシューハイキングやキッズパークも好評で多くの来場者をお迎えすることができました。

(2) 決算の状況 ～売上は前年比106%となり、引き続き健全に利益計上～

パノラマリゾートは、健全な経営を維持し、天候等でマイナス要因もありましたが、連続して営業利益を計上しました。

平成28年度は、MTBコースのバリエーションを増やす改良を行いました。雲海ゴンドラの知名度が向上したこともあり来客数を大きく延ばしました。また、テラスの増設やカフェ営業の補強により売り上げも増加しました。



(3) 実質的な町への貢献度

